

「受験を通じて試練に全力で取り組む練習をする」

こんにちは、いつもお世話になっております。ようやく秋らしくなるかと思えば一気に気温がさがり、冬の気配が近づいています。どうもよくない風邪が流行っているようなので、皆様体調管理には十分お気をつけ下さい。

中間テストも終わり、文化祭や修学旅行などの行事が行われている学校も多いようです。ですが、それが終わればすぐに期末テスト、受験生は模試があるはずです。中間テストが不調だった人はこの期末で挽回、良かった人はより上位を目指せる様に頑張りましょう。

毎回提出課題に追われている子はいませんか?「まだ時間はある」や、「範囲が出てないからできない」と考えるのではなく、「余裕があるうちにやる」「習った範囲を解いておく」と考え、今の内から少しずつ手を出しておくと、直前で焦らずにすみます。塾ではテスト対策直前個別といった授業の追加もいつでも受け付けています。普段とっていない科目の追加も可能です。また自習も、塾が空いている時間ならいつでも可能です。どこをやつたら良いか、どちらからやつたらいいかは、先生に相談してください。難しい問題の解き方や効率の良い考え方など、様々なアドバイスをしてくれます。どんどん頼ってくださいね。

これからの予定

11月下旬ごろから
3学期制 期末試験
11月 23日 (日)
叡智学園 中学入試



News 広島県県立高校統廃合へ

広島県教育委員会は、2033年度までに中山間地域以外で「1学年4学級」を下回る見込みの学校の統廃合を進める考えだと発表しました。現在の段階で対象となっているのは都市部の県立高校(県内で過疎地域に指定されていないエリアの学校)であり、計50校のうち、広島市、福山市、呉市など6市8高が26年度の見込みで「1学年4学級」を下回るとのこと。具体的な対象高や統合時期、再編については来年1月に正式に実施計画案を公表するそうです。

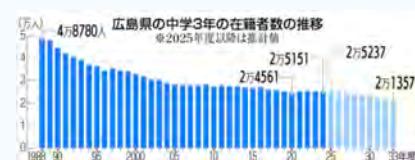
単純に学校数を減らすというだけではなく、文理の枠にとらわれない「新しい普通科」を検討、県内大学などと連携も強め、特色化や魅力化を図るそうです。

また、中山間地域では、現在の基本計画の基準に従い、「1学年1学級の全日校で新入生20人未満か全校生徒60人未満に該当し、二年連続で下回った場合」に統廃合の検討対象となります。

「1学年4学級」未満の都市部の広島県立高

広島市	1校
呉市	1校
竹原市	2校
三原市	1校
福山市	1校
東広島市	2校

※2026年度入学見込み



受験はまだまだこれからだ！

ワン
ポイント
アドバイ
ス



昨年の、中3受験生の例をお話しします。上の表は、後半模試成績が良く伸びた4人の10月と2月の成績推移です。4人とも10月の時点では、志望校までの合格ラインよりかなり低かったわけですが、日々の授業や自習の様子を見ていて受験までに合格ラインまで届くだろうと私は思っていました。この4人に共通していたことは

①基礎と勉強方法が身についていた ②志望校が最初から最後までぶれなかった ③とにかく努力し続けた

これから、入試まで50点、60点上げるのは大変だと思うかもしれません、1科目で10点上げれば5教科で50点上がります。特に、理科・社会は今からでも短期間で上げやすい科目です。4人とも、内心では志望校を見るとたびに不安な気持ちになっていたと思いますが、傍から見ていると常に前向きに取り組んでいた姿しか思い出せません。やはりポジティブな気持ちを持ってやることが大事だと思います。受験生の皆さん、来年からの高校や大学での楽しい生活をイメージしてやっていけばうまいきますよ！

中学3年生 全県模試結果

	10月	2月	合格ライン
A	244点	338点	330点
B	225点	310点	290点
C	237点	340点	330点
D	215点	293点	270点